

週刊

# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎(752)0453 小林えみ子 ☎(482)5451

発行

日本共産党  
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田  
312-5

☎(483) 1151

## 公約裏切りにとどまらず、そのつけを市民に転嫁する秋葉市長

秋葉市長は来年度の予算編成にあたって、35億円の歳入不足が生じるとして、市民サービスの全面的な見直し、切り下げを関係部署に指示していることが、11月議会での日本共産党の一般質問に対する答弁で明らかになりました。

その内容は、経常的経費は前年比5%削減に加えて、具体的指示として国民健康保険料の値上げ・ごみ袋の値上げ・保育料の値上げ・公民館利用の有料化・統廃合・文化施設、体育施設、学校開放施設の使用料値上げなど、豊田前市長でさえやらなかった市民サービスの全面的改悪と負担増のオンパレードです。

そもそも、来年度予算が足りなくなる現状を生み出したのはだれの責任でしょうか。質問の中で「市長にも責任の一端はあると認識しているか」との問いに秋葉市長は「責任は無いとは思っていないが、仮に中央図書館をつくらなくても交付金の削減などで35億円に近い負担増は見込まれていた」と答弁がありました。全く反省や責任を感じているとは思えない答弁です。

しかも、ハコモノ推進で、800億円にも膨らんだ借金のツケを、市民に押し付ける「無責任で身勝手なやり方」をぜったいに許すことはできません。

## ハコモノ優先の市政か、暮らし・福祉・子育て優先の市政か

歴代の保守市政のもと、ハコモノ優先の市政を市議会で追認してきたのが自民・保守・公明・民主などの議員です。これまで日本共産党は一貫して「新川ハコモノ計画」に反対をしてきました。

日本共産党は、お金の使い道をハコモノから暮らし福祉、子育て最優先に切り換え、認可保育園や学童保育園の増設で待機児童の解消を進め、小・中学校のエアコンの設置。特別養護老人ホームの増設で400名を超える待機者をなくすことなど進めてまいります。

教育委員会は、議会の答弁でも「小・中学校にエアコンの設置は必要である」と答えています。しかし、財源問題から設置するという事にはなっていません。

日本共産党は、行政の仕事として何よりも、子どものいのちと健康が最優先されるべきと考えています。猛暑日のなか熱中症の心配のない教育環境の整備こそ緊急の課題ではないでしょうか。

今後とも日本共産党は暮らし・福祉・子育て最優先の市政を追及していきます。

